

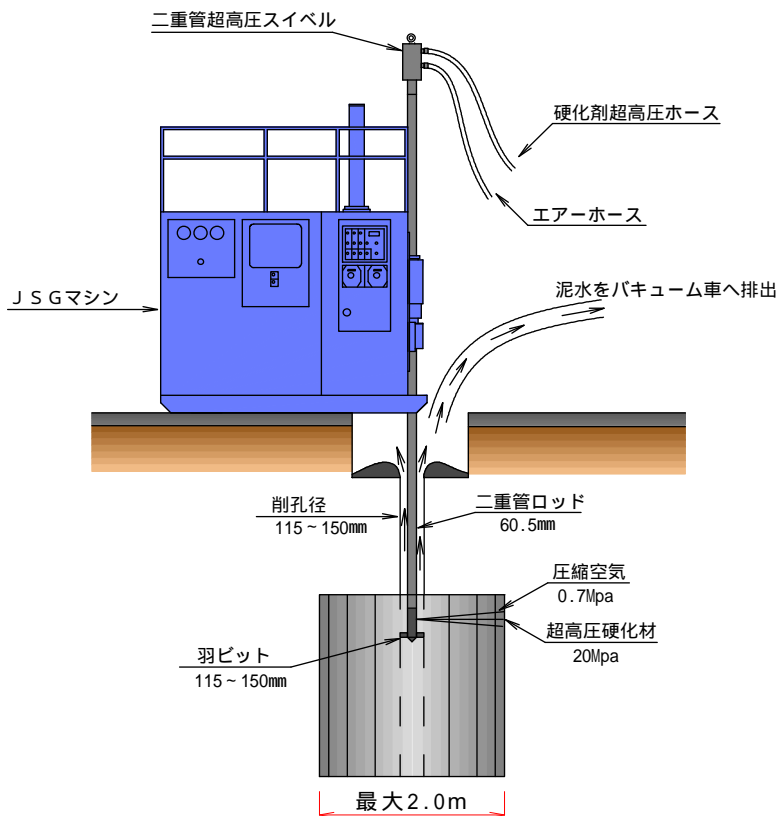
高圧噴射攪拌杭工法（ジェットグラウト工法）の中で、最も一般的な工法が「JSG工法」です。

JSG工法は、二重管ロッドを用いて超高压硬化剤と圧縮空気を同一軸の穴から噴射し、超高压硬化剤により地盤を切削しながら同時に噴射される圧縮空気によるエアリフトで上部に排土しながら円柱状の固結体を造成する工法です。硬化剤と空気を同一軸より噴射することが重要で、高压硬化材流の周囲に空気を伴うことにより、空中に噴射したときと同等の切削能力を発揮します。

造成径は最大φ2000mmとなり、土木・建築ともに幅広く適用可能です。また、機械的な攪拌杭に比べ、鋼矢板側面など隣接構造物が複雑な形状にも適用でき、比較的コンパクトな機械システムのため、いかなる立地条件でも施工可能です。



概要図



■主な用途

- ・シールド発進・到達部の地盤改良
 - ・土留工の歯抜け部止水強化
 - ・掘削底盤の地盤改良
 - ・新設、既設構造物の支持力強化など
- その他、様々な地盤改良に適用できます。

造成体



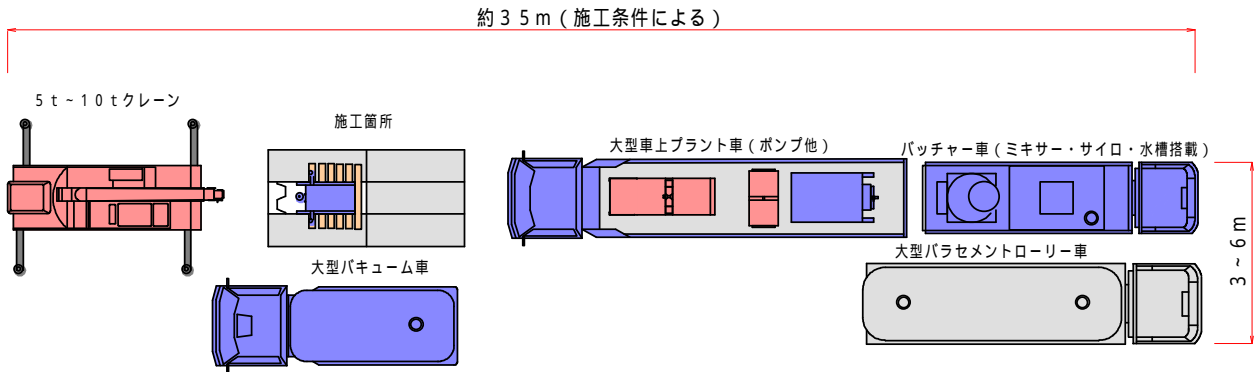
■JSG工法・標準設計スペック表

項目	土質名 N値	砂質土						砂礫土※
		N ≤ 10	10 < N ≤ 20	20 < N ≤ 30	30 < N ≤ 35	35 < N ≤ 40	40 < N ≤ 50	
標準有効径 (m) 深度 (0m < Z ≤ 25m)		2.0	1.8	1.6	1.4	1.2	1.0	-

項目	土質名 N値	粘性土					腐植土※
		N < 1	N = 1	N = 2	N = 3	N = 4	
標準有効径 (m) 深度 (0m < Z ≤ 25m)		2.0	1.8	1.6	1.4	1.2	-

※砂礫土、腐植土については、充分検討のうえ決定する必要があります。

J S G 工・施工配置図 (1 set 車上施工)

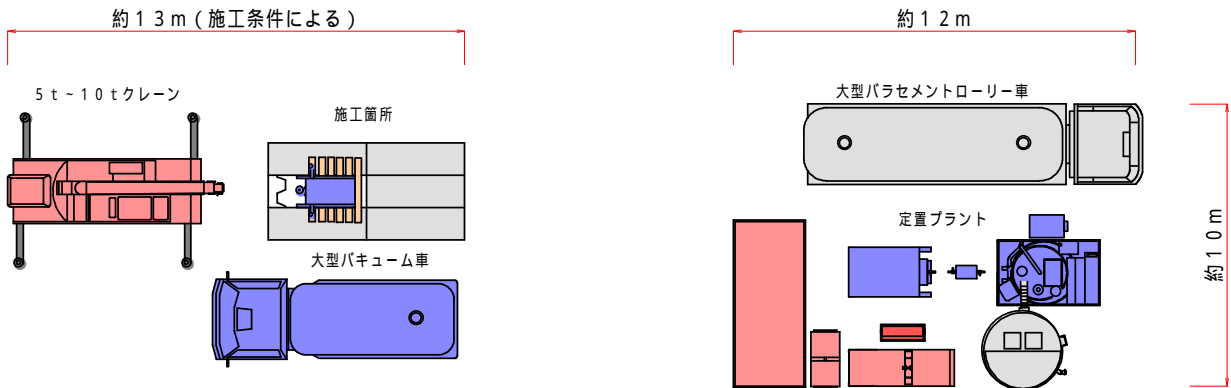


この配置図は、全てを車載式とした基本的な標準図です。
バキューム車とローリー車を縦列にする場合、施工延長が1.8mほど延長されます。
また施工箇所の範囲により全長が増減します。

■主要機械・車両 (車上プラント)

種別	仕様	台数
ボーリング・造成マシン	L1.800×W1.700×H1.400m	1
超高圧ポンプ	L2.510×W1.535×H1.345m	1
バッチャープラント車	10t車 (ミキシングプラント)	1
車上プラント車	11t車	1
積算流量計	チャート紙記録	1
コンプレッサー	50HP	1
発電機	60kva	1
クレーン	5t~10tラフター	1
大型バラセメント車	10t車	1
排泥処理バキューム車	10t車	1
その他	水中ポンプ・水槽など	

J S G 工・施工配置図 (1 set 定置施工)



この配置図は、全てを定置式とした基本的な標準図です。
また施工箇所の範囲により全長が増減します。

■主要機械・車両 (定置プラント)

種別	仕様	台数
ボーリング・造成マシン	L1.800×W1.700×H1.400m	1
超高圧ポンプ	L2.510×W1.535×H1.345m	1
ミキシングプラント	L3.313×W2.030×H2.430m	1
積算流量計	チャート紙記録	1
コンプレッサー	50HP	1
発電機	125kva	1
クレーン	5t~10tラフター	1
大型バラセメント車	10t車	1
排泥処理バキューム車	10t車	1
その他	集塵機・水中ポンプ・水槽など	

<お問い合わせ>

株式会社水明グラウト

http://www.suimei-g.co.jp

E-mail: info@suimei-g.co.jp

〒343-0827 埼玉県越谷市川柳町5-15-1

tel:048-940-0042 fax:048-940-0043